



川口市立芝東中学校  
〒333-0867 川口市芝東町3-1  
TEL265-3317(職員室)  
TEL265-3492(相談室直通)  
<http://www.kawaguchi.saitama.jp/shibahigashi.jp/>

NO. 4 発行日 令和6年7月1日

## 視野を広げる。

学校HPは



こちらから!→

校長 渡辺 秀和

5月末から6月にかけて、続々と学校行事が実施されました。生徒総会、1学年校外学習、3学年修学旅行など、どの行事も、生徒会本部や実行委員が中心となり、しっかりとやり遂げ、大成功を収めることができました。すごいで、芝東中生!

これらの行事やこれまでの芝東中生の学校での生活や授業の様子を見て感じるがあります。それは、もう少し視野を遠く、広く、深く、物事を多角的に見てみると、物事や状況の理由や全体の関係など、それまで見えなかったものが見えてきたり、進むべき道ややるべきことが見つかったりするかもしれない、ということです。それを踏まえ、参考になる3つの目を紹介します。

## ① 虫の目

虫の目とは、目の前の物事を細かい部分までじっくりと観察することです。経済用語では、「ミクロ(micro)=微視的」とも言われます。

ポイントは、2つ。1つは、日ごろ自分たちが関わっている人や物の状況や状態をよく注意して見るということです。もう1つは、人や物の変化には必ず何か理由や原因があるので、すぐに口に出したり、行動したりせず、冷静に考えてみるということです。それを重ねることで、きっと、自分の日ごろからの知識や経験と重なる部分からいろいろなことが見えてくるはずで。

## ② 鳥の目

鳥の目とは、「鳥瞰(ちょうかん)」という言葉があるように、高いところから物事を大きく見る視点で「俯瞰(ふかん)する」などとも言います。経済用語では、「マクロ(macro=巨視的)」とも言われます。

例えば、自分とは直接的に関わりがないことが教室の反対の方で起こっているとします。そのことが自分にどのように関わってくるのかを大きな動きとして捉えることがとても重要です。逆に言えば、自分の行っていることが、教室の反対にいる人に影響を与えたり、迷惑をかけたりしていることがあるかもしれません。サッカーなど、グラウンドレベルで見るより、スタジアムの上方から見る方が全体を見渡すことができる、そんなイメージです。

## ③ 魚の目

魚の目とは、魚のように潮の流れの変化をしっかりと見極める眼力を指します。言い換えれば、場の空気や雰囲気、更に言えば、時代や社会の流れを見る力を指します。

魚は、実際には、目で潮の流れを知るわけではありません。肌、体全体で感じているのです。魚は潮の流れを読まなければ、激しい流れに流されたり、ゆったりとした流れで天敵の魚に食べられてしまったりと、生きていけません。空気を読む力、もう少し大きな視点で言えば、変化をしっかりと見る力・感じる力を持つことは、これからの時代を生き抜くためには、最も大切なことかもしれません。

1学期、残りの行事は、学校総合体育大会、期末テストと、ゴールも見えてきました。芝東中生ならやり切れるはずで。何事もあきらめず、自分の力を出し切ろう!